

2021年3月期 第1四半期 決算説明資料

極東開発工業株式会社



極東開発のグループ構成

極東開発工業株式会社

特装車事業

86%

■ 製造・販売・サービス

日本トレクス㈱
北陸重機工業株式会社㈱
極東開発(昆山)機械有限公司 (中国)
MITHRA KYOKUTO SPV CO., PVT. LTD. (インド)
PT KYOKUTO INDOMOBIL MANUFACTURING INDONESIA (インドネシア)
PT KYOKUTO INDOMOBIL DISTRIBUTOR INDONESIA (インドネシア)

■ サービス・中古車販売

㈱エフ・イ・オート
振興自動車㈱
井上自動車工業㈱
■ 関連
極東特装车貿易(上海)有限公司 (中国)

環境事業

7.8%

■ リサイクル施設の建設/運転受託・メンテナンス

極東サービスエンジニアリング㈱
極東サービスエンジニアリング北海道㈱
㈱モリプラント
㈱エコファシリティ船橋

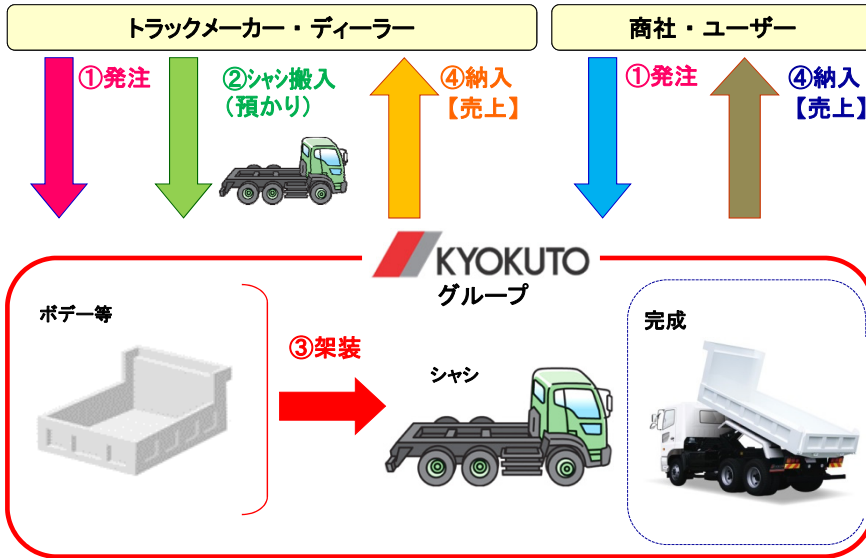
不動産賃貸等事業

6.2%

■ 立体駐車装置、コインパーキング

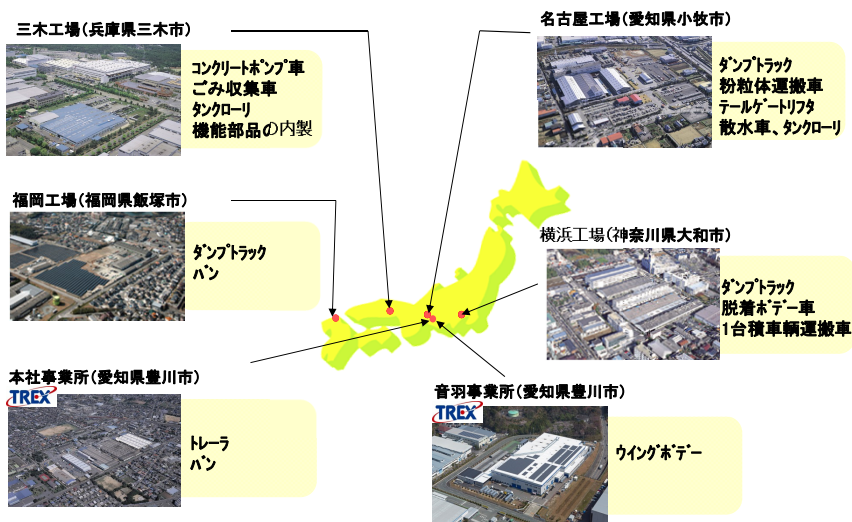
極東開発パーキング㈱
㈱エフ・イ
ささしまライブパーキング㈱

特装車事業



コンクリートポンプ車等一部の製品についてはシャシは買取。

国内生産体制



グループ主力製品

KYOKUTO



コンクリートポンプ車



粉粒体運搬車



トレーラ



1台積車輛運搬車



タンクローリ・散水車



テールゲートリフタ



ダンプトラック



脱着ボデー車



ごみ収集車



ウイングボデー車

5

海外生産体制

KYOKUTO

【インド】MITHRA KYOKUTO SPV CO., PVT. LTD.



ダンプトラック
ミキサートラック

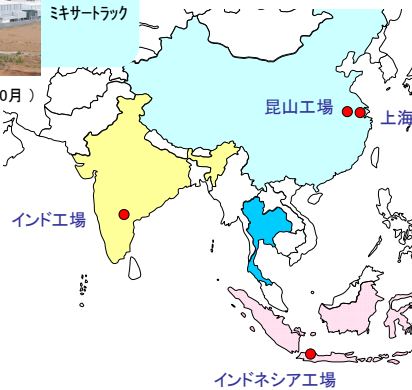
(操業開始: 2012年10月)

【中国】極東開発(昆山)機械有限公司



ミキサートラック

(操業開始: 2005年4月)



【インドネシア】PT KYOKUTO INDOMOBIL
MANUFACTURING INDONESIA

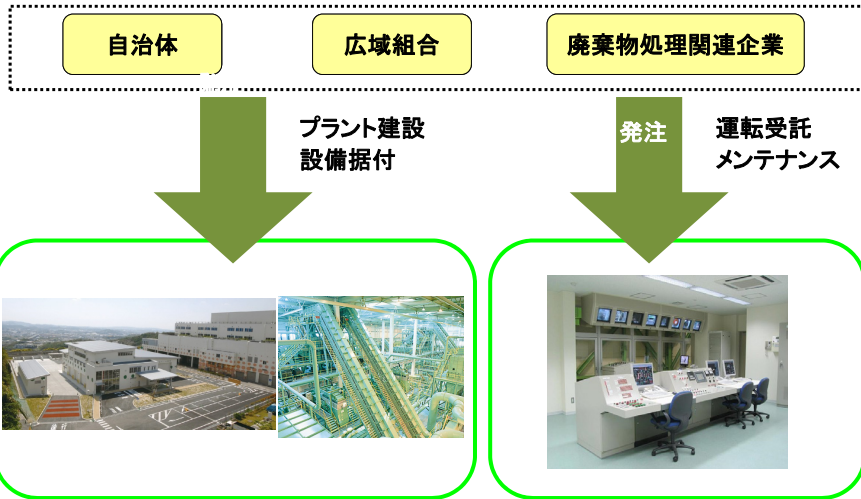


ダンプトラック
ミキサートラック
テールゲートリフタ

(操業開始: 2014年2月)

6

環境事業

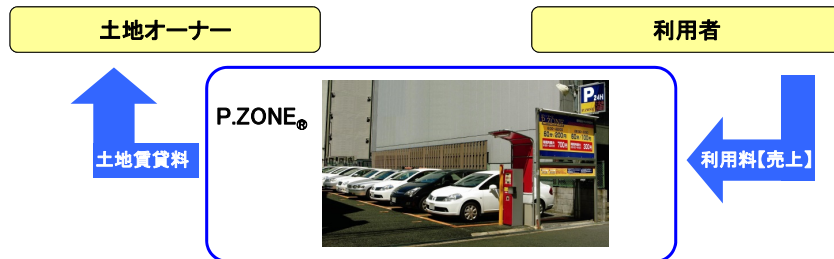


不動産賃貸等事業

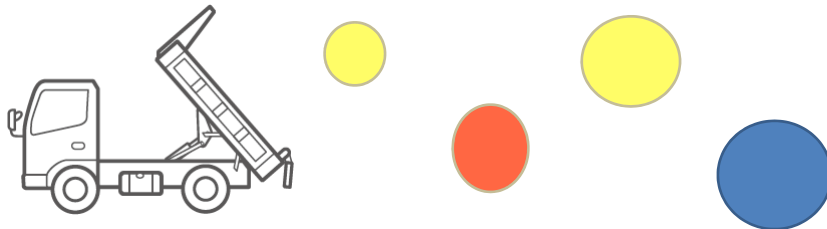
【立体駐車装置】



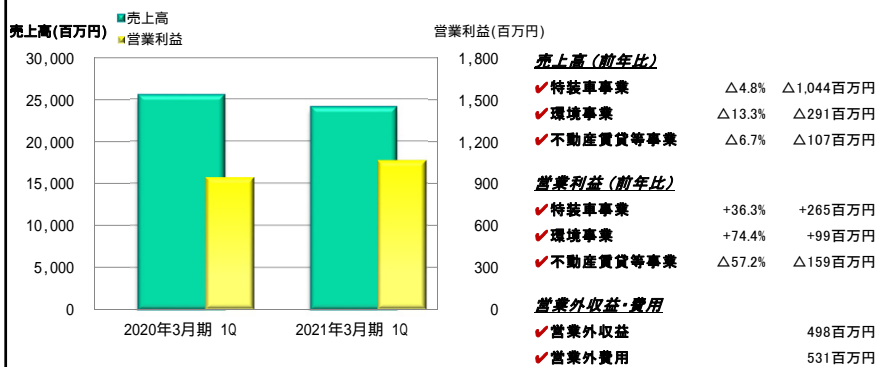
【時間貸駐車場】



2021年3月期 第1四半期 連結決算実績



2021年3月期第1四半期 連結決算

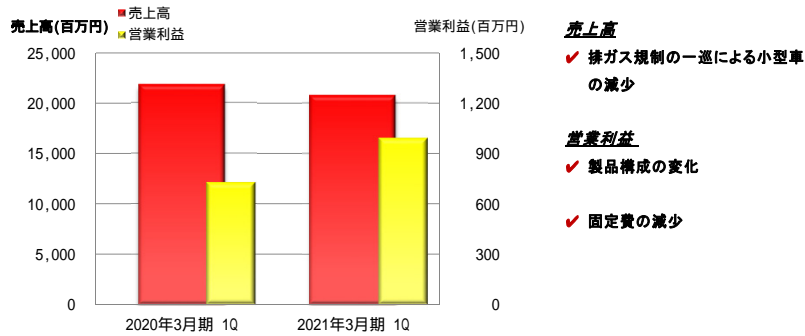


| | 2020年3月期 1Q実績 | 2021年3月期 1Q実績 | 前年同期比増減 | |
|---------------------|------------------|------------------|---------|--------|
| 売上高 | 25,536 | 24,105 | △1,432 | △5.6% |
| 営業利益 | 946 | 1,066 | +119 | +12.7% |
| 経常利益 | 1,059 | 1,033 | △27 | △2.5% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 847 | 1,276 | +430 | +50.7% |

| | |
|------|-------|
| 特別利益 | 2百万円 |
| 特別損失 | 29百万円 |

| | |
|------|---------|
| 法人税等 | +430百万円 |
|------|---------|

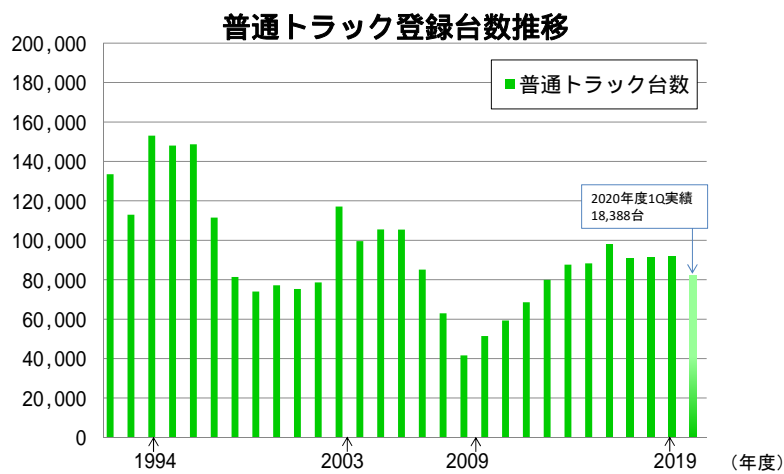
2021年3月期第1四半期 特装車事業



| | 2020年3月期 1Q実績 | 2020年3月期 1Q実績 | 前年同期比増減 | |
|------|------------------|------------------|---------|--------|
| 売上高 | 21,882 | 20,838 | △1,044 | △4.8% |
| 営業利益 | 730 | 995 | +265 | +36.3% |

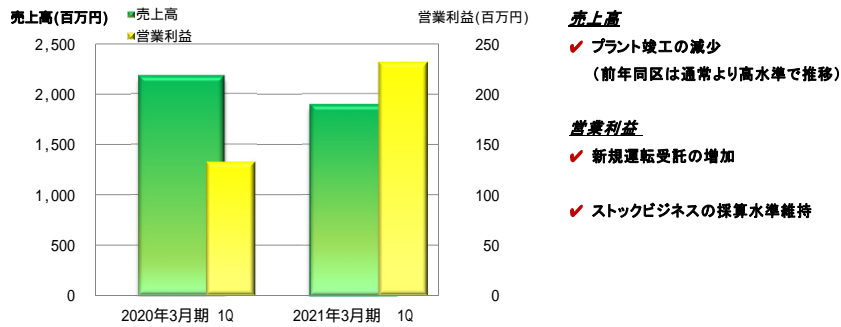
11

2021年3月期第1四半期 特装車事業(市場環境)



12

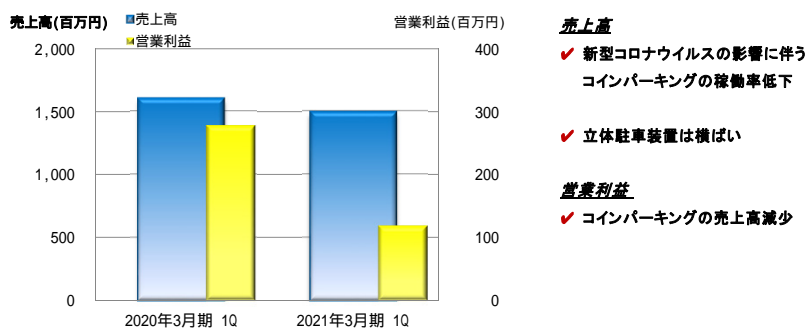
2021年3月期第1四半期 環境事業



| | 2020年3月期 1Q実績 | 2021年3月期 1Q実績 | 前年同期比増減 | |
|------|------------------|------------------|---------|--------|
| 売上高 | 2,186 | 1,895 | △291 | △13.3% |
| 営業利益 | 133 | 232 | +99 | +74.4% |

13

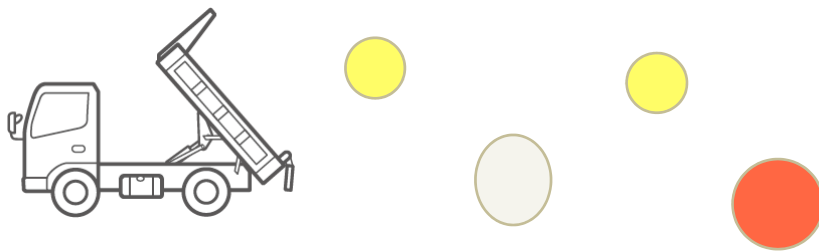
2021年3月期第1四半期 不動産賃貸等事業



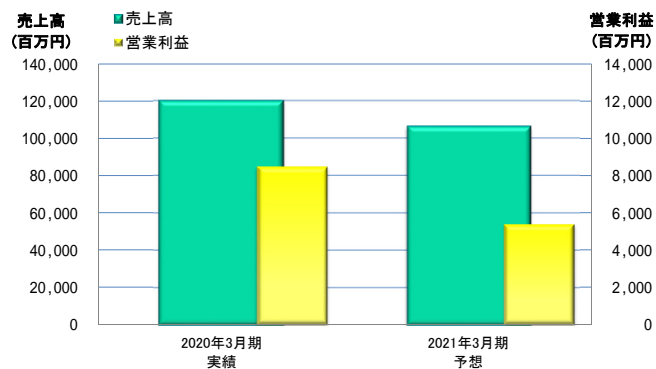
| | 2020年3月期 1Q実績 | 2021年3月期 1Q実績 | 前年同期比増減 | |
|------|------------------|------------------|---------|--------|
| 売上高 | 1,603 | 1,406 | △107 | △6.7% |
| 営業利益 | 278 | 119 | △159 | △57.2% |

14

2021年3月期 連結業績予想

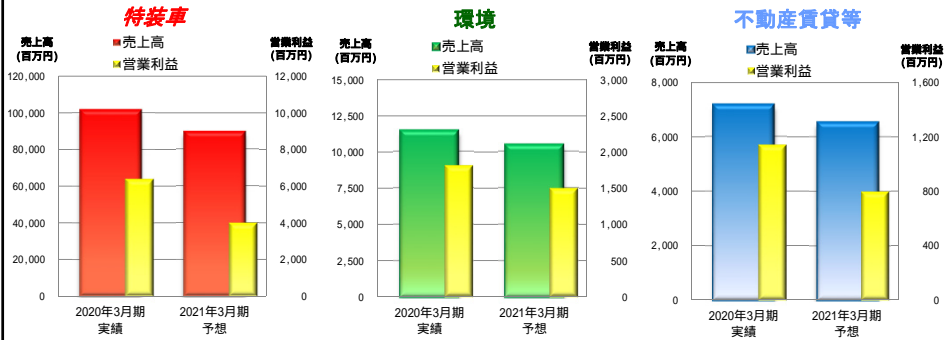


2021年3月期 連結業績予想



| | 2020年3月期 実績 | 2021年3月期 予想 | 前年同期比増減 | |
|---------------------|----------------|----------------|---------|--------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 120,174 | 106,500 | △13,674 | △11.4% |
| 営業利益 | 8,494 | 5,400 | △3,094 | △36.4% |
| 経常利益 | 8,875 | 5,500 | △3,175 | △36.6% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 6,073 | 4,400 | △1,673 | △27.5% |

2021年3月期 セグメント別予想



| | | 2020年3月期 実績 | 2021年3月期 予想 | 前年比増減 | |
|--------------|------|----------------|----------------|---------|--------|
| 特装車事業 | 売上高 | 102,076 | 90,000 | △12,076 | △11.8% |
| | 営業利益 | 6,417 | 4,000 | △2,417 | △37.7% |
| 環境事業 | 売上高 | 11,473 | 10,500 | △973 | △8.5% |
| | 営業利益 | 1,813 | 1,500 | △313 | △17.3% |
| 不動産賃貸等 事業 | 売上高 | 7,189 | 6,550 | △639 | △8.9% |
| | 営業利益 | 1,142 | 800 | △342 | △29.9% |
| 調整額 | 売上高 | △564 | △550 | +14 | - |
| | 営業利益 | △880 | △900 | △20 | - |



新型コロナウイルス 感染症の影響について

【当社グループの方針】

お客様、地域の皆様、グループ従業員の安全確保を最優先としつつ
事業継続との両立を図る。

【直近の状況および対策】

1. 当社グループ内での感染者は無し。
2. テレワーク・時差出勤・マイカー通勤を実施。
3. テレビ会議・WEB会議(Webex Meetings、Zoom、Skype)を活用し、
外出制限下でも業務を継続すべく、デジタル化を推進。
4. 工場およびサービス拠点は感染予防策を採りつつ通常稼働。

➡ 各種施策の実施により、リスク低減を図る。

1. 特装車事業

- (1) 生産は通常通り稼働、高水準の受注残。
- (2) 受注済案件でのキャンセルが若干発生。
- (3) 今後のリスク
 - ・営業：商談の延期・キャンセル。
 - ・生産：シャシの搬入・部品等の調達の遅れ。

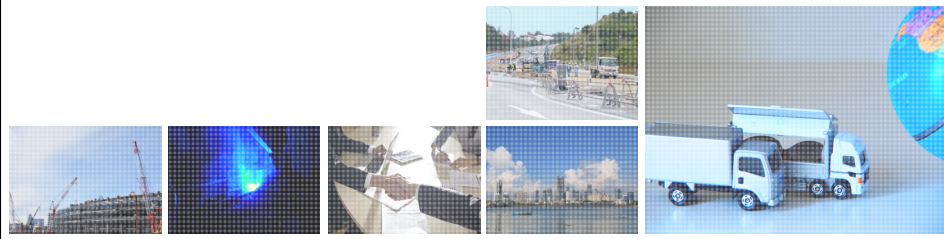
2. 環境事業

建設工事に遅延なく、運転受託は家庭ごみ増加等により繁忙。

3. 不動産賃貸等事業

コインパーキングの客足遠のき売上減少。

今後の取り組み



生産性の向上と利益体質の強化 ～設備投資効果の最大化

前中計までに実施した設備投資の運用と新たな設備投資により
売上の拡大・生産性向上を図る



生産性の向上と利益体質の強化 ～IoT・AI等の活用

IoT・AI等の活用を積極的に進め、
製品・サービスの付加価値向上と社内業務の効率化・自動化を推進する

IoT・センシング
⇒見える化・データ化



AI
⇒画像認識・自然言語処理
音声認識・予知予測



製品・サービスの付加価値向上



作業効率や操作性・安全性の向上
サービス支援(K-DaSS)

社内業務の効率化・自動化



スマートデバイス
・音声認識の活用

RPAの導入
(間接業務の効率化)

現場作業の
効率化・自動化

将来の収益源の創出 ～海外事業の収益基盤確立

海外経済の先行きが不透明さを増す中、収益基盤確立に向けてリソースを投入
日本・中国を含めてグループで連携したクロスボーダーな事業展開を推進

海外拠点

✓ 売上拡大から収益基盤確立へ
パラダイムシフト

インドネシア工場 (Kyokuto Indomobil)

- ▶ ダンプ・ミキサーの安定受注確保
- ▶ サービス体制の確立

インド工場

- ▶ ダンプOEM生産量を向上(VOLVO向け拡大、他メーカーへ展開)
- ▶ コストバランスの適正化



中国(昆山)



インドネシア



インド

輸出・グループ支援

✓ 国境を越えてグループ間で連携・役割分担することで全体最適化を図る

極東開発工業(日本)

- ▶ 輸出货量ダンプの受注拡大
- ▶ ユニット販売の促進
- ▶ 販売店増設(アジア・中近東)
- ▶ 新規海外専用機種の開発

昆山工場 极東开发(昆山)机械有限公司

- ▶ ミキサー マザー工場
- ▶ 日本向け部品拡大

極東特装車貿易(上海)

- ▶ 日本向け新規製品の開拓と原価低減

将来の収益源の創出 ～新分野の事業確立

グループの強みを活かせる既存事業周辺・応用領域にターゲットを絞り、事業成長に注力
成長を加速させるため、M&A・提携も積極検討



企業品質の向上と社会的価値の深化 ～社会貢献の推進

転換期を迎える社会の中、事業活動を通じて社会課題に取り組むことで
企業としての持続的成長性・付加価値向上につなげる

| 社会課題 | 当社グループの取組み内容 | SDGsアイコン |
|--------------------------------|--|----------|
| 人手不足の深刻化 女性・高齢者の労働参画 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 積載量の向上、トレーラー化 (輸送・作業の効率化) ▶ 操作性・安全性の向上 ▶ 省力化製品の提供 ▶ 健康経営の推進 ▶ 女性が活躍できる環境整備 | |
| 社会インフラ老朽化 自然災害の多発 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 各種特装製品の提供 ▶ 生産能力の向上・柔軟化 ▶ BCPの推進 | |
| 脱炭素化・循環型社会の構築 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境事業の推進 (リサイクル、バイオガス等) ▶ 製品の省エネ化・電動化 ▶ 環境負荷物質の低減 ▶ 太陽光発電事業 ▶ 環境マネジメントのグループ拡充 | |
| 製造業の空洞化 持続可能なものづくり | <ul style="list-style-type: none"> ▶ ものづくりの技能伝承 ▶ 工場見学・インターンシップの実施 ▶ 持続可能な調達の推進 | |

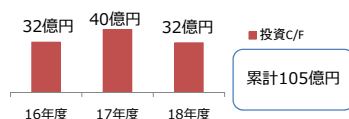
設備投資額・減価償却費・研究開発費



創出したキャッシュフローは持続的成長に向けた設備投資・戦略投資に積極活用

設備投資・戦略投資
3カ年累計 200~300億円

(参考) 2016~18年度の実績



| | 2020.3期 実績 | 2021.3期 予想 |
|-------|------------|------------|
| 設備投資 | 39億円 | 39億円 |
| 減価償却費 | 25億円 | 26億円 |
| 研究開発費 | 14億円 | 15億円 |

27

配当政策

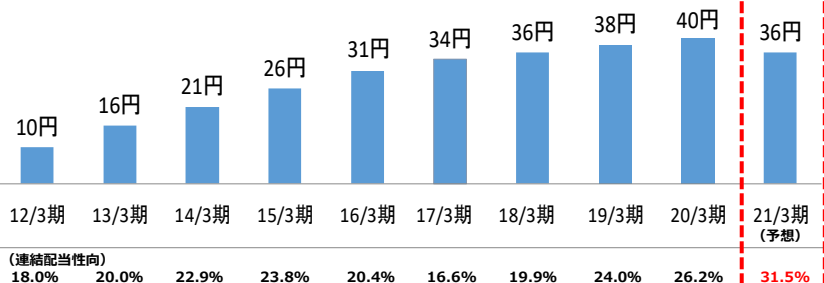


配当に関する基本方針

当社グループでは、株主還元を経営の最重要政策の一つと考え、業績の向上と財務体質の強化をはかりながら、将来の事業展開、経済情勢等を勘案して、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めています。

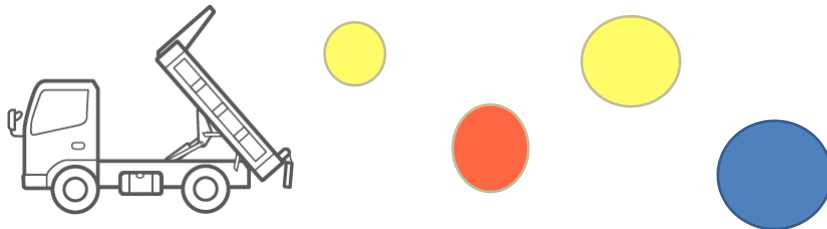
株主還元
安定的・継続的な配当を重視
配当性向 30%前後目安

一株あたり年間配当額の推移



28

TOPICS



TOPICS① 連結子会社である株式会社エフ・イ・テックと株式会社FE-ONEを合併

・連結子会社である株式会社エフ・イ・テック(特装車の修理・部品販売等)を、同じく連結子会社である株式会社FE-ONE(中古車の販売等)を存続会社として2020年4月1日付で吸収合併。

・本合併により、グループの経営資源の集中と業務の効率化を図るとともに、当社グループにおける特装車のストックビジネスを担当するサブブランドとしての位置付けと役割を強化し、当社グループとの連携を拡大。

➡ 今後、株式会社エフ・イ・テックの全国拠点での中古車の整備と販売の拡大を図り、修理および中古車の多様なニーズに対応する。

【合併後の状況(予定)】

- | | |
|-----------|-----------------------|
| 1. 商号 | 株式会社エフ・イ・オート |
| 2. 所在地 | 兵庫県西宮市甲子園口六丁目1番45号 |
| 3. 代表者 | 代表取締役 米田 卓 |
| 4. 主な事業内容 | 特殊自動車の製造、販売及び修理、中古車販売 |
| 5. 決算期 | 3月31日 |
| 6. 資本金 | 90百万円 |
| 7. 株主構成 | 極東開発工業株式会社 100% |

※株式会社FE-ONEは、株式会社エフ・イ・オートに商号を変更いたしました。

TOPICS② 新型「土砂ダンプトレーラ（リンク式・GVW36t）」

KYOKUTO

【特長】

- ・ボデー材質に、耐摩耗鋼板「HARDOX」を使用し、さらに曲げ構造のボデー形状とすることで積載量を現行機種(※)比で1,400kg 増加。
- ・日本トレクス株式会社と共同開発した、専用の段付トレーラ台車と段付フレーム構造の採用で、現行機種(※)比△100mmの大幅な低床化を実現し、走行安定性が向上。
- ・美観に溶け込むすっきりかつシンプルなデザイン

(※土砂ダンプトレーラ（リンク式・GVW36t・角底仕様）)

➡ 近年、高まっている土砂輸送効率化のニーズに対応し、ダンプトレーラのシェアアップを図る。



新型「土砂ダンプトレーラ（リンク式・GVW36t）」

2020年5月25日発表

2020年5月29日発売

31

TOPICS③ 自動吸水式 新型「スーパー散水車」

KYOKUTO

【特長】

- ・タンク内への吸水作業時のバルブの切換えやエンジン回転数の調整をスイッチひとつで自動制御することにより、吸水作業の準備から完了までの工程を約1/2(当社従来比)で行うことが可能。
- ・視認性と操作性に優れた専用のスイッチパネルや、吸水時に必要な呼水注水作業を不要(※呼水室内に水がある場合)とするタンク内に設定した呼水室など、より効率的な自動吸水を実現するオリジナル装備を搭載。

➡ レンタル等で散水車をはじめお使いになる方にも確実な操作が可能な、安全性と使いやすさを高めた新型機種の投入で、散水車のトップシェアを堅持。



新型「スーパー散水車」

2020年6月17日発表

2020年6月30日発売

32

2020年7月受注分より対応

・特装車の稼働状況を記録・蓄積する当社独自のIoT基盤を

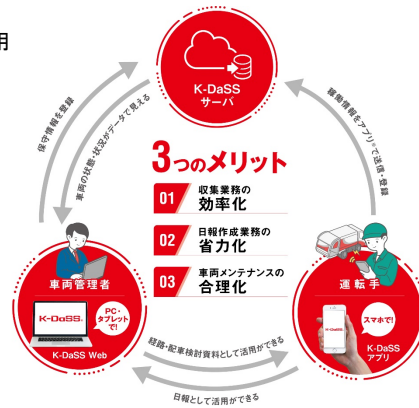
利用した車両管理支援システム「K-DaSS (※1)」の、ごみ収集車ユーザー向けアプリおよびWebの展開をスタート。(※1) K-DaSS : ケーダス (Kyokuto Data Sharing Service)

・事前のID登録を行っていただくことにより無料でのご利用ができ、ご登録された車両の「統計情報」・「移動履歴」・「収集管理」・「保守情報」の確認が可能。

・「K-DaSS」で確認できるデータを活用することにより、ドライバーの方と車両管理者の方での情報共有と、「収集業務の効率化」・「日報作成業務の省力化」・「車両メンテナンスの合理化」の3つのメリットを実現。

今後、順次各製品への展開と、システムのアップデートを行い、「つながる特装車(コネクティッドSPV (※2))」の取り組みにさらなる注力を図る。

(※2) SPV : Special Purpose Vehicle



「K-DaSS」アプリ・Web イメージ



本資料の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。本資料の著作権は極東開発工業株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く本資料を複製・配布することを禁止します。